

## ECHONET Lite 最新仕様対応のミドルウェアをリリース！

### 普及が進むスマートメーターなど短期間の開発が可能

2014年1月27日

株式会社日新システムズ

株式会社日新システムズ（本社：京都、代表取締役社長：竹内嘉一、以下日新システムズ）は、スマートハウス構築に必要な ECHONET Lite（エコーネット ライト）対応機器の開発を促進する最新仕様に対応したミドルウェア「EW-ENET Lite（イーダブル イーネット ライト）」の新バージョン（Ver1.5.0）を2014年1月27日にリリース致します。

#### ■主な特長

1. ECHONET Lite 通信規格の最新版（ECHONET 機器オブジェクト詳細規定 Release D）に対応
  - 急速な普及が進むスマートメーターをはじめ、重点 8 機器（※1）や連携機器の最新仕様の対応が短期間で開発できます。
2. お客様の開発環境に合わせた製品ラインナップ
  - 主に組み込み機器向けの C 言語版、パソコン・スマートフォン向けの Java 版（SE、ME）、をご用意しており、ソースコードにてご提供いたします。  
C 言語版は、小さなメモリサイズの機器に対し ECHONET Lite 化が可能となります。使用する機能を簡単に取捨選択できるコンフィグレーション機能を追加することで、サイズを削減し、また機器の製造コストの低減も可能とします。  
（例）エアコンクラス機器オブジェクト搭載の場合、  
旧バージョン： ROM 18.6KB  
新バージョン： ROM 13.3KB 約 30%のサイズダウン
3. 周辺ツールも最新仕様に同時対応
  - ECHONET Lite 開発をサポートする周辺ツールである、デバッグ・検証ツール「機器マネージャ」、ECHONET Lite 認証支援自動化テストツール「EW-ENET Lite Tester」も同時に最新仕様に対応しました。

## ■EW-ENET Lite 新バージョン (Ver1.5.0) について

「EW-ENET Lite」は、ECHONET Lite 対応機器を簡単に開発できるミドルウェアです。経済産業省が推奨する HEMS 通信プロトコルである ECHONET Lite の最新仕様に対応し、スマートメーター、太陽光発電、蓄電池など重点 8 機器 (※1) を含めた全 168 種類の機器に対し ECHONET Lite 対応の開発を加速いたします。2012 年 3 月にリリースして以来、数多くの採用を頂いており、弊社は ECHONET Lite 対応機器開発の先駆者として、最新の機器オブジェクト詳細規定のバージョンアップにいち早く対応致しました。

「EW-ENET Lite」をお使いいただくことにより、ECHONET Lite 処理部分のミドルウェア開発工数を削減でき、短期間で ECHONET Lite に対応した機器やシステムの開発、商品化を実現いたします。

### ○EW-ENET Lite (Ver1.5.0) のその他の特長

- ・最新仕様「ECHONET Lite 規格書 Ver1.10」に準拠
- ・APPENDIX ECHONET 機器オブジェクト詳細規定 Release (A, B, C, D) すべてに対応
- ・168 種類の機器オブジェクトに対応
- ・機器オブジェクト詳細規定の全バージョン (Release A, B, C, D) 対応により、異なるバージョンの機器との通信にも対応できるコントローラ開発が可能
- ・Linux/Windows®上での ECHONET Lite プログラミング開発が可能

日新システムズは様々な開発環境に対応し得る製品を取り揃えており、長年の組込み開発のノウハウをスペシャリストによる ECHONET Lite 実装といった受託開発も承り、ECHONET Lite 開発ソリューションとして今後も開発者を支援する製品・サービスをご提供いたします。

### ※1 重点 8 機器とは

スマートメーター、太陽光発電、蓄電池、燃料電池、EV/PHV、エアコン、照明機器、給湯器の 8 機器を言い、図 1 に重点 8 機器と HEMS との関連イメージについて示します。

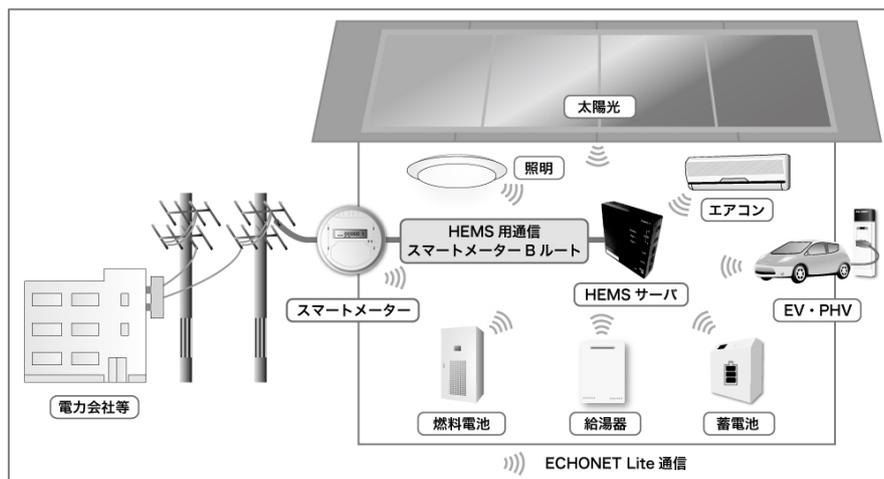


図 1 重点 8 機器と HEMS との関連イメージ

<参考情報>

■ ECHONET Lite とは

ECHONET Lite とはスマートハウス構築を実現するための、エコーネットコンソーシアムが策定する通信規格です。家庭で使用するスマートメーターや家電機器、太陽光発電システム、蓄電池などの間で情報をやりとりし、エネルギーをより効率良く制御することを目的としています。その通信規格が、経済産業省や大手メーカを含む協議団体 JSCA (Japan Smart Community Alliance) の国際標準化ワークグループ「スマートハウス標準化検討会」において、スマートハウスの中核を担う HEMS の公知な標準インタフェースとして推奨すると 2011 年 12 月に発表されました。

■ EW-ENET Lite について

弊社は 2010 年より HEMS サーバ開発への取り組みをスタートし、2011 年 4 月よりエコーネットコンソーシアム会員に入会、そして現在ではエネルギー関連機器のネットワーク対応や EMS (エネルギー・マネジメント・システム) との接続部分の開発実績を持っています。2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災以降、日本でもスマートグリッドへの意識は今まで以上に高まり、HEMS における通信規格の統一によって、得意とする HEMS 分野において他社に先駆け本ミドルウェアの自社開発を着手し、2012 年 3 月に EW-ENET Lite をリリースすることになりました。

■ EW-ENET Lite Tester について

ECHONET Lite 規格適合性認証取得に必要なテスト全項目の自動テスト、認証申請書類に準じたフォーマットでの試験結果のファイル出力などが可能なツールです。※本製品はオプション (別売品) となります。

■ 機器マネージャについて

擬似的にホストからデバイスに対し、検索や各種コマンドを発行できる ECHONET Lite 対応機器開発のデバッグ・検証ができるツールです。

■ 日新システムズについて

日新電機株式会社 (東証、大証 1 部上場) の全額出資子会社である、日新システムズは、“Smart Solution Partner” を掲げ、組込み事業とシステム開発事業で培った技術力と ICT (情報通信技術) 化の実現により、エネルギーをはじめとする様々な分野のお客様とともに新たな価値を創造し、スマートな社会創りに貢献する企業です。組込みソフトウェア開発の技術力としては、OS のカスタムボードへのポータリング、デバイスドライバ開発、アプリケーション開発を得意としており、エネルギー分野においては、ECHONET Lite 規格に対応した HEMS (Home Energy Management System) 等を自社開発し販売、サポートを行っています。

日新システムズのホームページ <http://www.co-nss.co.jp/>

※本資料に掲載する会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

■ 本製品に関するお問い合わせ

株式会社日新システムズ

京都市下京区堀川通綾小路下ル綾堀川町 293-1 堀川通四条ビル

TEL : 075-344-7961

<http://www.co-nss.co.jp/contact/>

■ 報道関係からのお問い合わせ

株式会社日新システムズ

ソリューション事業部 西日本営業部 田辺 宏樹 (たなべ こおき)

総務部 情報システム Gr 広報担当 森嶋 小百合 (もりしま さゆり)

京都市下京区堀川通綾小路下ル綾堀川町 293-1 堀川通四条ビル

TEL : 075-344-7977

[release-nss@co-nss.co.jp](mailto:release-nss@co-nss.co.jp)